

## りとにゅーす

No.62 2010.10.1

図書館の情報を  
携帯でチェック!!編集・発行 岡山理科大学図書館  
〒700-0005 岡山市北区理大町1-1  
<http://www.lib.ous.ac.jp>

## 分類雑感

岡山理科大学 図書館長  
関 達也

物が集まると整理する必要がある。整理するためには、一定の基準を作っておかないと後で困ることになる。動物や植物の世界では「分類学」というのが基準を定めている。多くの図書館を扱う図書館では、「日本十進分類法」という基準を設けて分類を行っている。図書の分類をする最大の目的は、図書の居場所を定めることである。本籍地のようなものである。その本の主題によって分類が進められるが、本によっては、複数の主題を持つものがある。そのような場合、半ば強引にいずれかに居場所を定めておくことになる。

同じ分類番号に属するものは、著者名の順番に並べられる。これはアルファベット順であり、日本字はヘボン式のローマ字で表記される。雑誌の開架順も同様である。ヘボン式というのは古い方法だというイメージがあるが、パスポートではヘボン式でないと受け付けてもらえないのでこちらの方がユニバーサルスタンダードといえようか。

ヘボン式というのは、江戸時代末期に日本にやってきたアメリカ人 James Curtis Hepburn 氏が著した「和英語林集成」で使用したものが基になっている。Hepburn 氏は、日本

人向けに自分の名前を「ヘボン（漢字では平文）」と表記した。耳に残る音感を重視したのであろう。アカデミー賞女優のキャサリン・ヘプバーンやオードリー・ヘプバーンはどちらも「Hepburn」である。「ローマの休日」以来、日本人に圧倒的な人気を博しているオードリーであるが、「オードリー・ヘボン」とされていたら少し違ったことになっていたかもしれない。

私の専門領域である「地質」は、ヘボン式では「tisitu」ではなく「chishitsu」となる。昔の図書カードを繰ることで検索を行っていた頃は「t」のところをいくら探しても出て来ない。今はパソコンで検索できるのでそのような問題は全くなくなっている。情報技術の進歩によって「検索」作業は想像もつかないくらい容易になっているのである。その一方、「本の居場所を定める」という分類の作業は依然として不可欠なものとして残っており、新しい分野や複合分野が増えているのでますます複雑なものとなっている。動物や植物の世界では新種がでるとニュースになるが、本は新種が続々出てくるのだから全く別の世界といわねばなりません。

参考文献 JICヘボン著「和英語林集成」(講談社学術文庫)講談社[所在]21号館一般[請求記号]833 / He

## 図書館新サービスStart

皆様スムーズに利用できるようにするため、下記のサービスを始めました。

- ★ 事務室の一部移動 平成22年3月
- ★ 就職など特設コーナー新設 平成22年3月
- ★ 学生向け雑誌の変更 平成22年4月
- ★ 映画などDVDの充実 平成22年4月
- ★ ベストセラーの購入 平成22年4月
- ★ 新着図書の展示 平成22年4月
- ★ コーナー展示 平成22年4月
- ★ 館内BGM など 平成22年7月

11号館では昼休みに音楽が流れています。



## いざ、書こうと思っても、なかなか書けないのがレポートや卒論です。

レポートや卒論を書くには、下準備など幾つかの段階が必要です。これなしで、いきなり書いてもつまづいてしまいます。そこで、右記のステップで書いてみてはいかがでしょうか？



資料の探し方は中面をご覧ください。

## 〈レポート執筆の10のステップ〉

- ステップ1 テーマの選択
- ステップ2 事前調査
- ステップ3 仮アウトライン作成
- ステップ4 関連文献の調査
- ステップ5 文献の入手
- ステップ6 文献の読解と整理
- ステップ7 最終アウトライン作成
- ステップ8 執筆・校正
- ステップ9 出典の表示
- ステップ10 仕上げ

紀伊國屋書店「図書館の達人」より